

重点目標に対する評価の概要

評価A・・・達成された B・・・ほぼ達成された C・・・達成されなかった

重点目標	実践状況	評価			成果と課題
		生徒	保護者	教員	
安全安心な学校づくり	① 学校事故の絶無に努めます。				
	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検を実施し、危険個所の早期改善に努めた。 緊急対応マニュアルに基づき、シミュレーションを実施した。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検で確認した改善個所の早期修繕により、事故の未然防止に努めることができ学校事故は減少している。 警察署の協力を得て、不審者侵入を想定した対応訓練を実施し、実際的な対応行動が確認できた。
	② 防災及び防災教育の充実に努めます。				
	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害時対応マニュアルや備蓄装備品の点検を行った。 児童生徒引き渡しシミュレーションを実施した。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 実際の授業を想定した引き渡しシミュレーションを実施し、行動確認ができた。また、備蓄装備品の点検、発電機などの使用法が確認できた。
授業の充実と教員の専門性向上	① 明確なねらいの下、具体的な手立てを講じ、「主体的な学び」が実現できる授業づくりを推進します。				
	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修において各学部、各グループごとに年間を通じて「主体的な学び」について授業研究に取り組んだ。 工業高校の協力を得ながら、教材教具の共同開発に取り組んだ。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 各学部が定期的に授業研究会を実施し、校内研究の成果としてまとめた。 工業高校との共同学習においてはスイッチ教材の共同開発に取り組み、実態に応じた教具が製作できた。
	② 障がいの特性に対応できるよう専門性を向上させます。				
	<ul style="list-style-type: none"> 動作訓練の指導や摂食指導など実際的な研修を実施した。 	/	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 動作訓練、摂食指導について専門家を招聘し、継続的に取り組むことで専門性が向上した。
	③ 外部専門家に協力を要請し、教員の専門性を高めます。				
<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家を要請し、授業力アップのための研究授業を複数回、実施した。 	/	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 大学などの関係機関から講師を招聘し、「主体的な学び」の実現に向けて授業研究会を重ねたことで、実際的な授業づくりに行かされた。 	

心の安定と健康な身体	① 教育相談体制の充実を図ります。				
	・校内の教育相談体制の構築に努め、家庭や保護者への具体的支援を継続的に実施した。	/	B	A	・校内相談支援に取り組んだが、保護者への相談手順の周知が不十分であり工夫が必要と思われる。
	② いじめ防止対策を推進します。				
	・児童生徒や保護者へのアンケートを実施するなどしていじめの未然防止に努めた。	A	A	A	・生徒、保護者へのアンケートや学年会により、情報の収集と共有化を行い未然防止に努めることができた。
	③ 生活指導を充実させます。				
	・食に関する家庭アンケートを実施し、実態の把握に努め、食育に関するプリントを計画的に配布するなどして肥満防止に家庭と連携して取り組んだ。	B	B	B	・家庭アンケートにより、必要に応じて保護者支援を行い、食生活改善へのアドバイスを行った。また、食に関する資料配布を継続的に行ったことで家庭意識が徐々に高まりつつある。
④ 生徒指導の改善・充実を推進します。					
・各学部ごとに養護教諭の協力を得ながら発達に応じた性教育の指導に取り組んだ。 ・高等部では、スマホ講習会を実施し、望ましい使い方や情報被害からの回避について指導した。	B	B	B	・養護教諭や市保健センター講師と連携して実態に応じた性指導を行った。また、性指導に関して専門家を招聘しセミナーを開催した。 ・NTT専門指導員を招聘し、スマホの実際的な望ましい使い方や情報被害回避についての意識付けが進んだ。	
特別支援教育のセンター的機能の充実	① 地域に開かれた学校づくりをします。				
	・学部ごとに年間を通して、小学校、中学校、高校と交流学习や共同学習を行った。 ・本校主催の特別支援教育セミナーを開催し、専門研修や関係機関への情報提供を行った	A	B	A	・小学校、高校との交流、共同学習を行った結果、本校の行事に参加したり相手校の行事に参加したりする関連交流が拡大した。 ・地域セミナーを継続して開催してきたことで参加者数が増加している。
	② 地域の特別支援教育への理解啓発を推進します。				
・地域や各種学校へ教員を派遣し（イングル事業）研修会支援や相談支援を行った。 ・年間を通してささっこ教室（早期相談教室）を開催し地域の早期相談を行った。	/	A	A	・地域や各種学校からの研修会支援の協力依頼が増えてきている。 ・相談件数が増加し、早期からの関連機関との協力した取り組みができるようになった。	

